基本計画27 環境衛生の充実

現状と課題

近年、地域における人口減少や既存家屋の老朽化などに伴い、空家等が年々増加しており、特に、適切な管理がなされず放置されている空き家については、周辺住民の生活環境において、安全性や衛生面、防犯、防火などの場面で悪影響を及ぼすおそれがあることから、解消に向けた取組が課題となっています。

本市には、桜岱地区と向野地区に火葬場が整備されており、利便性や火葬件数から、当面は2つの施設により運営していくこととしておりますが、桜岱地区の火葬場は老朽化しているために、総合的な火葬場の運営方針を検討する必要があります。

本市では17か所の公共墓地を管理していますが、ここ数年は需要が多い状況が続いていたことから、平成28年度に野崎霊園の一部造成と時代の潮流に合致した合葬式墓地についても併せて整備し、市民の要望に応えてきたところであります。

し尿の処理については、本市と七飯町で組織する「南渡島衛生施設組合」の施設で処理していますが、施設の老朽化に伴い適正な維持管理をしながら運営していく必要があります。

■空家件数

<u> </u>				
	空家総数			
地区名		特定空家 候補	活用可能	その他
浜分地区	94 戸	24 戸	45 戸	25 戸
		25. 5%	47. 9%	26.6%
中央地区	220 戸	77 戸	84 戸	59 戸
中大地区	220 /-	35.0%	38. 2%	26.8%
茂辺地・石別地区	185 戸	88 戸	53 戸	44 戸
		47. 6%	28. 6%	23.8%
大野地区	126 戸	47 戸	42 戸	37 戸
		37. 3%	33. 3%	29. 4%
計	625 戸	236 戸	224 戸	165 戸
	025 /-	37.8%	35.8%	26.4%

(注)平成 28 年度調査数値

※地区名

・浜分地区:七重浜、追分・中央地区:久根別~富川・茂辺地・石別地区:矢不来~三ツ石・大野地区:旧大野町地域

■火葬件数の推移

単位:件

区分	分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
火葬場		283	259	214	215	220
	市内	267	240	192	196	194
	市外	16	19	22	19	26
永遠の森	火葬場	263	276	283	279	308
	市内	240	250	250	259	280
	市外	23	26	33	20	28
計		546	535	497	494	528
	市内	507	490	442	455	474
	市外	39	45	55	39	54

成果指標

No.	指標名及び説明	現状値	将来目標値
1	特定空家等候補の解消	236戸	*

[成果指標の現状値・将来目標値について]

1 現状値は、平成28年度の空き家住宅等実態調査結果より。

主要施策

1 空家等対策

- ① 空家対策については、北斗市空家等対策計画に基づき遂行していくことになり、特定空家等と判定したものは、所有者に対し「助言・指導・勧告・命令」により、適正管理に向けた取り組みを強化します。
- ② 特定空家等の解消方法としては、解体による除却か修繕による改善が考えられることから、所有者のニーズにあった支援制度などを周知することで、その加速化に努めます。
- ③ 居住可能な空家等については、空き家バンク制度などによる利活用が期待できるため、関係課と連携しながら、その解消に努めます。

【関連主要施策】 P77 主要施策3 住まい・仕事の支援 ①

2 火葬場・墓地の適正管理

- ① 老朽化している桜岱地区の火葬場については、計画的な修繕を行いながら安定した 火葬体制を継続していくとともに、今後の施設運営の方針については、向野地区の 火葬場も含めた中で検討します。
- ② 野崎霊園は、当初予定していた第2期計画の 500 区画のうち、100 区画の造成と 100 区画分の敷地に合葬式墓地を建設しましたが、残余地への 300 区画の造成に ついては、今後の需要を見極めながら検討します。

3 し尿処理施設の適正管理

① し尿処理施設については、南渡島衛生施設組合が実施する施設の機能検査後に、構成町である七飯町と整備方針の協議を進めます。